

理事長挨拶

八王子共生社会推進会議(愛称「もやい」)とは？

〈もやい〉は、2017年の設立以来、「八王子市内で共生社会の確立」というミッションのもと、活動を展開してきました。私たちは、高齢者も障害のある人も子育てで忙しい人も生活に困っている人もみんなで楽しい生活が出来る環境を整備することを目指しています。

私たちの活動を知っていただくために、支える側、支えられる側の区別がなく、誰もが一緒に活動することを広報・啓発事業をつうじて、考えています。

具体的に考え方として「八王子市包括ケアシステム」の構築があります。

団体の成り立ちと〈もやい〉の事業

以前、私たちはNPO法人八王子市民活動協議会で福祉分野での活動を続けてきました。しかし、八王子市民活動協議会は共生社会を作るための実際の事業はミッションに含まれていないということで、新しい団体「八王子共生社会推進会議」を設立し、活動を継続しました。

私たちの初めの活動は市民が地域で活動するための「活動団体の情報ハンドブックを作成しました。次は活動の場所まで行けない人の支援をする移動・送迎支援活動の必要性を感じ、具体的に移動・送迎支援する担い手の育成に力を入れました。しかし、移動・送迎支援活動を私どものネットワークだけで活性化するには限度があり、2019年度より八王子市福祉部および八王子市社会福祉協議会と連携し活動を続けています。

八王子共生社会推進会議の愛称「もやい」という名の由来

「もやい」(舳)とは船を港に係留するとき、ロープで固定するときのロープの結び方の一つです。

外から大きな力がかかってもほどけず、危険から守ってくれます。この言葉が良く知られていますが、もうひとつ、「もやい」(催合)には共同で1つの事業を行うという意味もあります。

私たちはみんなで一緒に1つの事業(福祉活動)を行うと事と考え、愛称としました。

理事長 大福 族生

2020年度事業内容

2019年度よりトヨタ・モビリティ基金を活用し、移動・送迎支援事業を展開してきました。

活動の骨子は八王子市福祉部と八王子市社会福祉協議会 支え合い推進課と連携し、市内各地域で活動する生活支援団体(B登録団体)へのサポート事業です。

①移動・送迎活動のための車両の貸し出しを実施

もやいでは自己所有車両3台を所有し、希望する団体へ無償で貸与し、活動に利用していただいています。(借用には講習会を受講するなど、もやいの決めたルールがあります)

②移動・送迎活動を行うための出前講座の実施

移動・送迎支援活動は事故・苦情などの各種のトラブルが伴うので、事業を継続して行うための工夫が必要です。事故には事故対策、苦情には苦情対応策が必要で、そのための対策として、運営のための「安心・安全」を主体とした講習会を実施しています。

③勉強会の実施

移動・送迎支援活動を行うには、道路運送法・道路交通法などの法的規制も多く、運用には注意が必要です。また連携した活動にはそれぞれの地域での課題や運営のためのスキルなど、活動してみなければ分からない課題もあります。このようなテーマについて時には専門家を招いて勉強会を実施し、スキルアップに努めています。

④移動支援相談室の運営

移動・送迎支援活動に関するあらゆる事項についての相談を受けています。

もやいには運行管理者、整備管理者、行政書士などの専門家が在籍しており、多くの相談を受けています。

⑤八王子市との協働事業

2020年度に介護保険総合事業で行われているサービスの一部を八王子市と一緒にモデル事業として実施することが決まりました。実際の活動は総合事業・通所サービスC+訪問サービスDのモデル事業への取り組みです。(施設で、送迎ができない施設への移動・送迎支援活動をもやいが行う)

この事業は10月から12月まで行われますが8月19日から「テスト送迎」を行うことになりました。



【勉強会の開催ご案内】

- ・日時:10月14日(水)13:30~15:00
- ・講師:服部先生、伊藤先生、辻野主査
- ・場所:八王子労政会館
- ・テーマ:移動送迎支援活動の活性化

【新会員の紹介】

新しく堂田レイ子さん、磯間孝子さん、平本千果さん、数井学さん、籾野道子さん、諸星えり子さん、伊藤みどりさんが入会されました。

【編集後記】

NPO 法人八王子共生社会推進会議は2017年8月に設立されましたが会員の皆様には活動内容を報告しておりませんでした不定期ですが広報誌を発行することになりました。

今後ともよろしくお願ひ致します。ご意見は info@moyi802.com まで